

11月は「児童虐待防止推進月間」

オレンジリボン運動実施 11月1日～30日



毎年11月は「児童虐待防止推進月間」とし、オレンジリボン運動の取組みが全国的になされています。

岩手県でも児童虐待関係の通報をはじめ、不登校やヤングケアラーについての相談等も増加しています。



- あなたの周りにこのような子はいませんか？
 - ・不自然な傷が多い
 - ・季節にそぐわない服装をしている
 - ・家に帰りがたがらない
 - ・いつも空腹にしている
- 子どもの泣き叫ぶ声や大人の怒鳴り声がする家はありますか？

「児童虐待かも？」と思ったら

児童相談所全国共通ダイヤル	イチャク
警察最寄りの警察署または緊急時	189番
	110番

子どもの「命」「権利」そしてその「未来」は社会全体で守っていきましょう。

環境浄化活動実施結果



7月、8月は青少年の非行・被害防止県民運動月間でした。

当少年センターでは月間中、北上市地域安全推進市民会議の方と合同で

- ・有害図書類自動販売機の実態調査
- ・書店、レンタルビデオ店に、成人向け雑誌・DVDなどの陳列や販売方法などの遵守について協力要請
- ・インターネットカフェやカラオケボックスに対して、少年の深夜立ち入り制限に係る協力要請
- ・市内の携帯電話販売店にフィルタリング利用促進に係る協力要請を実施しました。



少年相談のお知らせ

ひとりで悩まないで、
まず話してみよう
専任補導員が対応いたします



- 場所：北上市大通り一丁目3番1号
おでんせプラザぐろーぶ3階
北上市少年センター
- 時間：月～金 9時～17時

夕暮れ時は御用心

秋も深まり、日暮れも早くなりました。毎年この時期になると、日没後の交通事故の増加や、暗がりに乗じた痴漢等の犯罪も多発する傾向にあります。

事件事故のない安全な街づくりをすすめ、未来ある少年を犯罪や事故から守りましょう。

一般的な心構え

- 車も自転車も暗くなってきたら早めにライトを点けましょう。
- 歩行者は夜光反射材の利用や懐中電灯を使い、自分の存在を周りに知らせましょう。
- 犯罪に巻き込まれないためにも人通りが少なかったり、街路灯の無い暗い道路や公園などは避けましょう。



子ども達に対する心構え

- 地域の遊び場や通学路で、大人は子どもたちに愛の声をかけましょう。
- 通学路に異常箇所や危険な場所があったら、関係団体に連絡しましょう。
- 子どもが外で遊んでいるときには、「散歩をしながら」、「庭いじりをしながら」等の「ながら見守り」で、子どもの安全を守りましょう。



薬物乱用のない社会を

1 薬物乱用の現状

令和4年中、岩手県で

- ・覚醒剤事犯で検挙された人は 13人
- ・大麻事犯で検挙された人は 19人

大麻事犯は全国的に見ると、10代の学生から30歳前後の青少年への著しい蔓延がみられるなど、深刻な状況です。

2 薬物乱用の恐ろしさ

- ・覚醒剤や大麻などは依存性がとても強く、1回だけと以为っていても、また使いたくなる、自分の意志で止めることは非常に困難になります。
- ・薬物使用の影響による幻覚等で凶悪犯罪を引き起こす可能性もあり、自分や周りの人を不幸にしてしまいます。
- ・「痩せるから」、「無害だから」などの誤った情報に惑わされず、「絶対に関わらない」という強い意志を持つことが大切です。



薬物乱用を防止するために

- 薬物乱用の危険性は身近にあり、自分には関係ないことと思わないこと。
- 誘われても「ダメ。ゼッタイ。」と断る勇気を持つこと。
- 一人で悩まないで友人や家族に相談すること。



毎月第3日曜日は「いわて家庭の日」

「いわて家庭の日」とは、親子・家庭の絆を深める日。



青少年が健やかに成長するには、家庭の力が欠かせません。子どもと向き合う、家族みんなで過ごす、家族そろって食事をする。「いわて家庭の日」は家庭を大切に、実践する日です。

補導日誌

9月1日16時、せせらぎ公園に女子中学生が通りかかったため、声をかけてみたら、明日陸上の大会があるので走りに来たとのこと。
気軽に応じてくれ、頑張つてと激励したところ、素敵な笑顔で返事をしてくれました。

9月8日17時30分、帰帆場公園の池で小学生3人が遊んでいた。5時30分を過ぎていたので帰宅するよう声をかけた。詩歌の森公園にて、高校生生カップルが芝生に座り話をしていた。
遅くならない内に帰宅するよう促したところ、立ち上がり帰路についた。